

電話・FAX・メールにてお気軽に資料請求してください★

猛暑の影響は人体以外にも!? 蚊が消えた? ハチが大量発生! その理由を徹底解説!

- ・ 猛暑が引き起こした異変「スズメバチの大量発生」「蚊の減少」の理由と対策
- ・ 梅雨が短かったため、巣にとって弱点である「水」の影響を受けず巨大に…さらに危険なオオスズメバチも活発化
- ・ 気温が高すぎると蚊は動かない! 今後、台風で雨が降ると大量発生する可能性も

ハチ・蚊に異変

【猛暑で発生した異変】

- ・ スズメバチの猛威
- ・ 蚊が消えた!?



早かった“夏の到来”で超危険なスズメバチも活発化

【スズメバチ大量発生理由】

- ・ スズメバチは春から巣作りを始める
- ・ 巣は雨に弱く、例年は、梅雨の時期に巣が雨に流され蜂の数も減るはずが…
- ・ 今年は梅雨の時期が短く、夏が早く到来! 巣の数が減らなかった



蜂の大量発生から、さらなる恐怖も考えられる。
蜂のトラブル救助隊の篠原一真さんによると…

大量発生したキイロスズメバチを狙い、本来、林などに潜むオオスズメバチが住宅地に大量発生する可能性もあるとのこと。
オオスズメバチは、キイロスズメバチと比べて大きさが約2倍、毒の量は約10倍もある超危険な蜂なのだ。



猛暑で“蚊”が消えた!?

今年の夏は、あまり蚊に刺されていない気がしないだろうか？
実は、それも今年の酷暑が大きく関係しているのだという。

【蚊と気温の関係性】

気温 34℃と 26℃のケースの中にそれぞれ腕を入れ、蚊がどれくらい刺すのか実験

・ 34℃のケースでは、2回刺された。
蚊はケースの壁に張り付き、あまり動かない状態だった

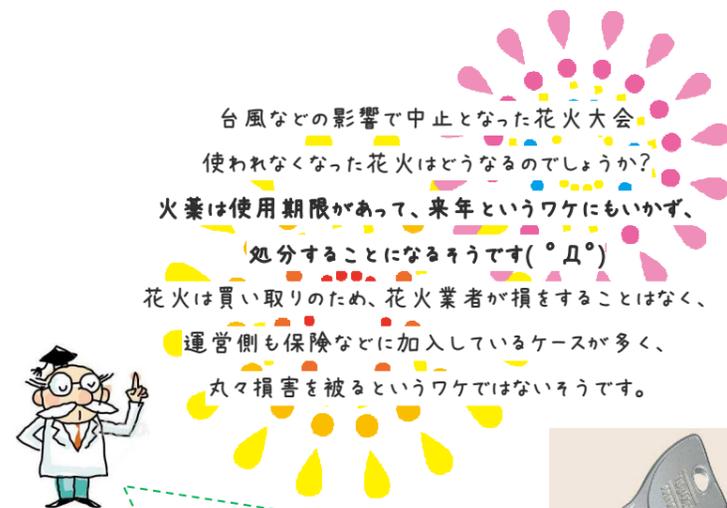
・ 26℃のケースでは、9回刺された。
蚊はケースの中を活発に動き回っている状態だった



害虫防除技術研究所白井良和所長によると…

「蚊の飛行活動は温度によって変わり、26~30℃くらいが最も活発になる。今年梅雨が短く、猛暑で水場が干上がり、蚊の幼虫が育たず蚊の成虫が少ないという傾向がある」

蚊は卵の状態からどれくらいで成虫になると思いますか？たとえば、セミは1年です。なんと、3週間なんですよ！
蚊のもっとも多い時期が8月中旬から下旬です。
今後、台風などの影響で大雨の降る可能性もありますが、そうすると水場が増えて、蚊が大量発生することも考えられます。



建築用語【ディンプル・キー】

シリンダー錠の一種で、従来の玄関キーのような鍵山がなく、表面に深さや大きさの異なる小さなくぼみ(ディンプル)を付けた形式のキーのこと。
鍵違い数(配列組み合わせ)が1000億通り以上と多いため、複製が困難で、ピッキングされにくく、防犯性に優れている。



遮るだけではない、 新たな価値観のロールスクリーン 「ソヨカ」

「ソヨカ」が繋ぐ、暮らしと自然の心地よさ。

「ソヨカ」は、夏の暑い陽射しから、家族、家や家具を守る外付けロールスクリーン。室外で陽射しを遮るので、住まいに入ってくる多くの日射熱を効果的に遮断します。
閉塞感が無いメッシュスクリーンは、室内からの眺望を犠牲にしません。

■ 日射熱 86%カット! 50%節電!
住まいに入ってくる熱の約70%は窓からといわれています。
室外で陽射しを遮る「ソヨカ」なら日射熱を86%もカット!
夏季(6~9月)のエアコン電気使用量が約50%節電できます。



スクリーンは7色から選択可能。 ※画像はイメージです



季節のお手入れ【8月】

台風に向けて、住宅内外の点検を行ってください。
特に、屋根、雨どい、窓、雨戸、排水溝などについて安全に注意の上、点検してください。